

一人ひとりに  
寄り添う政治を。

そ世  
だ田  
ち谷

# つるみけんご

通信  
vol.21

無所属  
世田谷区議会議員

## 世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”の実現を目指して「つるみけんご」は、活動を続けます。

### つるみけんご 鶴見健悟プロフィール

- 1986年(昭和61年) 10月12日生まれ 36才
  - 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科卒
  - JA東京中央会 元職員
  - 衆議院議員 長妻昭 元秘書
  - 公務員試験専門 喜治塾 元講師
  - 世田谷区議会議員に初当選(得票数4,491票)
- 企画総務常任委員会、DX推進・公共施設設備等特別委員会に所属



つるみけんごは  
“認知症サポーター”です！

こんにちは。このたび、「つるみけんご通信」をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。

本通信では、令和5年2月～3月にかけて行われた「世田谷区議会令和5年第1回定例会」の一般質問と「予算特別委員会」の質疑の主な内容をまとめました。お読みいただけましたら幸いに存じます。

※今回のチラシでは紙面の都合上、定例会で扱ったテーマのすべてを載せることはできませんでした。掲載できなかった内容を含め、議場での質問の様子は、右のQRコードよりご覧いただけます。



世田谷区議会  
インターネット  
議会中継

つるみけんごの  
会議の録画映像を  
ご覧いただけます。

## 質問 世田谷で子育てをする上での保護者の負担を区は把握しているのでしょうか

～世田谷の子ども達の実態を捉え、適切な子ども・子育て支援の充実に～

### 質問の趣旨

昨年12月21日に文部科学省より発表された「令和3年度子供の学習費調査」によると、塾・習い事などの学校外活動等を含め、こどもの教育に対し、保護者が1年間・子ども一人当たりで支出した「学習費の総額」は、公立小学校に通った場合でおよそ35万円、私立小学校の場合はおおよそ166万円で、令和3年度に「過去最高」を記録したとのことです。

特に、自宅学習や学習塾・家庭教師などの経費である補助学習費を含む「学校外活動費」は、前回調査からさらに増加し、公立小学校では約3万4千円、公立中学校では、6万3千円の増額となりました。

結果として、塾などの「学校外活動費」が子どもの学習費の総額を押し上げる要因となっております。本調査は全国調査であることを鑑みると、世田谷区においては学校外での学習費が一層高額となる可能性が考えられます。

このような背景を踏まえ、世田谷区で子どもを育てるうえで、塾や習い事などの費用等を含めた教育に関連する経費の全体像と具体的な負担を教育委員会としてどのように把握しているのか伺いました。

### 教育委員会の答弁

塾や習い事などの学校外の活動費については、各ご家庭での判断や選択によるものであり、教育委員会として区における具体的な状況把握は行なっていないが、保護者の経済的負担が一定程度あるものと考え、就学援助の拡大など負担軽減を図ってきた。今後も国の調査や他自治体動向も踏まえ、情報収集に努める。



### つるみけんごコメント

今回の質問により、区は具体的な状況把握を行っていないことが明らかになりました。実態を把握せずに、的確な政策立案が出来るのか、区民ニーズに合致した施策が出来るのか大いに疑問です。区が言われる国や他自治体の情報収集では「世田谷の子育て」における負担の実態は見えてきません。教育委員会の答弁に対し、改めて、保護者の負担の実態把握のために独自の調査を実施することを求めました。



## 裏面は「子どもの体力低下」「区民をお待たせしない窓口」「令和5年度予算は高齢者置き去り？」

無所属会派

「新風・せたがやの風」

として

議会では、同じ無所属議員で、区議会議員を7期務める小泉たま子さんと2人で会派を組み、共に活動しています。

政党に属さず、是々非々で区政に臨んでいます。議会の大先輩である小泉たま子議員から日々多くのことを学ばせて頂いております。





## 質問 子どもの体力低下、令和4年度は過去最低？子どもの健康が心配です

～子ども達が健やかに成長できる世田谷へ～

### 質問の趣旨

昨年末、スポーツ庁はHPで「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」に関するビデオメッセージが公表し、「令和元年度以降、全国の子どもの体力は全国的に低下傾向となっている。」「運動不足により子ども達の心肺機能が落ちてしまっている。」など、子ども達の体力低下に対し警鐘を鳴らしました。

昨年(令和4年)の本調査結果は、現行の調査方法になって以来、「過去最低」を記録したとのことでした。

世田谷区においても、コロナ以前の調査である令和元年度と令和4年度を比較すると、小学生では上体起こし、反復横跳び、シャトルラン、ソフトボール投げが男女ともにほぼすべての学年で低下し、女子中学生は全ての学年、全ての項目において、令和元年度を下回っていることがわかりました。

この現状を踏まえ、教育委員会として事態をどのように捉えているのか、区内の現状と今後の対策について問いました。

### 教育委員会の答弁

令和4年度の調査における体力合計点は世田谷区においても低い結果となっている。児童・生徒が運動の楽しさや喜びを十分に味わい、運動に親しむ態度を身につけた結果として体力の向上が図られるよう、モデル校の取り組みなどを共有するなど各学校における取り組みのさらなる充実に努める。



### つるみけんごコメント

子どもの体力は、その時のみならず子どもの生涯にわたる健康に多大な影響を及ぼします。スポーツ庁は全国の子どもの肥満傾向児の増加にも警鐘を鳴らしています。子ども達が健やかに成長するために、子どもの身体と心の健康の増進に引き続き、取り組んでまいります。

## 質問 区民をお待たせしない窓口の実現に向けた本気度が見えません。いつまでに実現できるのでしょうか

～区民ニーズに応える行政窓口サービスへ～

### 質問の趣旨

区の報告資料によると、昨年3月の最終月曜日の区窓口の平均待ち時間は「87分」。

区は、手続きにいられたお忙しい区民の皆様を1時間半もお待たせしてしまっています。

一方、令和3年6月の定例会において、区長は招集挨拶で、「区の窓口やサービスの在り方を見直して、区民に時間を返す改革を実現する」と表明されました。しかしながら、その後の窓口の状況や取り組みの内容、各種報告資料等を見ても区長が表明された「区民に時間を返す改革」に、区役所を挙げて取り組んでおられるようには到底見えません。

このような現状を踏まえ、「区民をお待たせしない窓口」の実現に向けた区の本気度を問いました。

### 区の答弁

DX推進担当部をはじめ、総合支所などと連携を密にして取り組み、区民に満足いただける窓口の実現に向けて、取り組んでいく。



### つるみけんごコメント

今更「連携を密に」との答弁は到底納得できるものではありません。令和元年9～10月に区が実施した区政モニターアンケートでは、「区役所の窓口の運営として重視される点はどのようなことか」という質問に約7割の方が「効率的で待ち時間が短いこと」と回答されています。区は、区民の皆様の声を重く受け止め、一刻も早く窓口混雑の解消を実現すべきです。引き続き、区民の皆様をお待たせしない窓口の改革に取り組んでまいります。



## 質問 令和5年度予算、「高齢者置き去り」の予算になってはいないでしょうか

～子どもも大人もお年寄りも、誰もが住み続けたい世田谷へ～

### 質問の趣旨

区が作成した令和5年度予算案のコンセプトは「子ども全力応援予算」です。私は、子ども若者・教育関連予算は未来への投資であり、極めて重要であると考えているため、これを充実していく方向性には大賛成です。

しかし、今回区が提案された当初予算概要では、子ども若者関連の新規事業が目立つ一方、高齢者関連の新規事業はほとんど見当たりません。

このことから、区の予算概要の重点項目における子ども若者関連と高齢者関連、それぞれの新規事業数と概算の予算額について質問をしました。



### 区の答弁

新規事業のうち、子ども若者関連は14事業で約16億6300万円、高齢者関連は1事業で約500万円。



### つるみけんごコメント

この答弁における子ども若者関連の約16億円には、話題となっている給食費の無償化等教育関連の新規事業は含まれておりません。これらを含めると、新規事業は子ども若者・教育関連でおよそ50億円、それに対し高齢者関連はわずか500万円であることが明らかとなりました。

区の答弁を受け、「かたや50億円、かたや500万円ということでは、あまりにもバランスを欠いてはいないか」と問題提起をしたうえで、区民の皆様のご理解を得られる丁寧な説明をするよう求めました。

引き続き、誰もが住み続けたい世田谷を目指し、バランス感覚を持った区政を目指してまいります。